



# いわき市立大野中学校 学校だより 第12号

令和2年2月20日(木)  
発行責任者：校長 田中 淳一  
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献(稼げる大人, リーダーシップのとれる大人になる)  
育成したい力：自己マネジメント力 協働する力 探究する力

## 情報モラル教室

本校において実施した調査の結果では、「平日家でゲームをする時間、メールやインターネットをする時間」は平均で約2時間、「ゲームやスマホ等の使用に際して、家の人と約束を決めていない」生徒は約5割にのぼります。そのような実態を踏まえ、2月19日(水)、「情報モラル教室」を開きました。この教室は、「電子メディアを活用した情報収集・発信のルールやマナーを身に付けさせるとともに、発信する情報や情報社会での行動に責任をもたせ、生徒が主体的に情報を選択・活用する能力の育成を図る」ことを目的としています。



講師には、医療創生大学教授(県教委生徒指導アドバイザー、県警察サイバー犯罪対策アドバイザー)の中尾剛先生をお招きしました。中尾先生からは、「SNSやゲームによる依存症の怖さと健康への影響」について、具体的なデータや事例に基づいて分かりやすくお話しいただきました。「モラルは『言われたから守る』のではなく、『自分で判断して決める』もの」という先生の言葉から、生徒の「情報」に関する見方・考え方を洗練させ、適切な判断ができる力や主体性を育む必要があることを再認識しました。

子どものうちからスマホとゲーム漬けになり、降り注ぐような情報にさらされ、万事を情報処理として受けとめる人から、読解力や想像力、ものの見方・考え方の広さや深さ、そして物事をじっくりと深く考える機会が奪われていくことに強い危機感を覚えます。情報モラル教室が、デジタル社会の影が生み出す課題を解決するための一助となることを願っています。情報モラル教室及び学年懇談会に参加いただきました多くの保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。



## 四倉地区青少年健全育成推進大会

1月25日(土)、「第28回四倉地区青少年健全育成推進大会～小中高生の意見発表会～」が四倉公民館で開催されました。本校からは1学年の男子生徒が代表として参加し、「大野中生になって」という演題で意見発表をしました。男子生徒にとっては、多くの一般市民の皆さんの前で意見発表をするのは初めての経験でした。発表では緊張感を力に変え、視線や声量、速さなどに気を付けて、練習の成果を発揮していました。多くの時間を割いて自分の意見を言葉にまとめ、他者に伝えるという経験はとても貴重な学びとなったことでしょう。本校生には、このような学校の外で学べる機会を生かすとともに、小規模校の課題を克服し強みに変えられるように努めてほしいと思っています。



